

希 望

チューリツヒ日本人学校便り

平成 29 年 6 月 27 日発行

第 12 号

編集発行 鈴木史良

学校評価でよいよい学校へ

—— 本年度はじめての評価アンケートの実施 ——

日本の公立学校では、近年、組織マネジメントに基づく学校自己評価システムが導入されています。長期的な学校ビジョンのもと、年度内に実現可能な目標を設定し、それについて年間を通して目標管理していく方法です。本校の場合、学校自己評価システムは、年間 2 回の P.D.C.A（計画・実行・評価・改善）のサイクルを基本に据えています。学校のねらいを達成するために、課題となる事象を認識し、実効性のある改善策を遂行することにより、学校の総合的なパフォーマンス、子どもたちに提供できる教育の質を高めていくことを目的としています。まずは児童生徒、保護者及び教職員対象に教育評価アンケートを実施し、本校の目指す教育がねらいどおりに実践されているかどうかを確認します。

今年度 第 1 回学校評価アンケートの内容

- 実施期間…… 平成 29 年 6 月 28 日(水)～ 7 月 7 日(金)
- 対 象 …… 児童生徒、保護者、教職員（※記名アンケート）
- 評価方法…… 3 つの項目の中の各指標については 4 段階(A B C D)で評価する。それ以外の部分は自由記述する。
- 評価項目／指標について
評価項目は、子どもたちの学習面、生活面、学校全体の指導についての 3 つに絞り、それぞれに対応する評価指標を設けている。
I 学習面・わかりやすい授業、子どもが意欲的に取り組む授業など、学習活動が充実しているか。
 - ・個に応じた指導が行われ、基礎基本となる学力が定着しているか。II 生活面・あいさつ、へんじ、くつならべ、いす入れなど、基本的な生活習慣を育成しているか。
 - ・相手を思いやる心や言葉遣いなど、豊かな人間関係を築く基本を習得させているか。
 - ・清潔で安全な学習環境を確保しているか。III 全 体・学校便りや学級通信、HP など、学校からの情報発信が十分なされているか。
 - ・ふだんから来校しやすく、授業や行事などを参観しやすい雰囲気があるか。
 - ・ふだんから子どもたちや保護者の相談に、親身になって対応しているか。
 - ・校外学習や学校行事など、スイスならではの学習活動が充実しているか。

以上の観点のもとに、学習面、生活面では、子どもたち用、保護者用、教師用の言

葉に直したアンケートを配付いたします。3つめの学校全体に関わるアンケートは、保護者、教職員のみで子どもたちにはありません。また、自由記述欄もございますので、ご活用ください。

第三者評価ができないという難点がありますが、年度初めに目標を立てただけで終わりにするのではなく、あらゆる機会に所期の目標を管理し、達成度を高めていくことは、本校にとって必要なことだと思います。児童生徒、教職員、保護者それぞれの観点、立場から教育活動を振り返り、その過程で明らかになった課題、問題点については、年度途中にすばやく改善策を立てて対処したいと思います。それが本校教育の質を高めていくことにつながれば幸いです。

合唱「空はつながっている」の練習はじまる！

6月23日(金)、ヴァイオリニストで、「空をつなげるプロジェクト」の推進者である河村典子さんを学校にお招きし、合唱の全体指導をしていただきました。合唱するにあたって、大事な話をたくさん聞くことができました。11月の30周年記念式典に向けて、一日も早く曲を覚え、思いを込めて歌えるようになってほしいと思います。学校中にこの歌を響かせ、スイスと日本の空をつなげましょう。



河村さんの熱のこもった指導

7、8月の主要予定

ホームページでの公開はしてありません。ご了承ください。